

環境基本計画（後期）重点プロジェクトの取組内容（令和2年度・令和3年度）及び評価（令和2年度）

重点プロジェクトとは

大田区の目指す将来の環境像「環境と生活・産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市（まち）の実現」に向け、区民等、事業者及び区の連携のもとで、重点的かつ優先的な具体展開を図っていくべき主要な施策・事業を「重点プロジェクト」として選定しています。

資料説明

【重点プロジェクトの取組み内容と評価】

- 令和2年度の取組内容とその評価を記載しております。
- 評価に関しては、以下の基準に基づきます。

「大田区環境基本計画重点プロジェクト 評価の基準」

- A・・・・・・・・計画以上の進捗があった
- B・・・・・・・・計画どおりの進捗があった
- C・・・・・・・・一部進捗した
- D・・・・・・・・進捗しなかった

【重点プロジェクト 一覧】

重点プロジェクトA 産業分野の取組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備		評価
(1) 事業者・行政の連携強化	① 環境配慮行動の促進 ＜担当部＞環境清掃部、産業経済部	B
	② 事業者・行政の連携強化 ＜担当部＞環境清掃部、産業経済部	B
重点プロジェクトB 沿道環境の保全対策		評価
(1) 騒音・振動対策の推進	① 自動車騒音・振動調査 ＜担当部＞環境清掃部	B
	(2) 大気環境の保全対策の推進	
	① 大気汚染調査 ＜担当部＞環境清掃部	B
	② 都市計画道路の整備 ＜担当部＞都市基盤整備部、まちづくり推進部	B
重点プロジェクトC 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大		評価
(1) 区有施設への積極導入	① 区有施設への再生可能エネルギー設備等の導入、エネルギーの効率化・最適化設備の利用促進 ＜担当部＞企画経営部、都市基盤整備部、環境清掃部	B
	(2) 区民等・事業者の導入の支援	
	① 再生可能エネルギー等の普及促進 ＜担当部＞環境清掃部	B
	② 大規模開発時における再生可能エネルギーの導入促進 ＜担当部＞環境清掃部	B
(3) 次世代エネルギーの普及促進	① 次世代エネルギーの普及促進 ＜担当部＞環境清掃部	B

重点プロジェクトD 生物多様性の保全・再生		評価
(1) エコロジカルネットワークの形成	① 生き物の生育・生息空間づくり ＜担当部＞都市基盤整備部	B
	② 区民等が行うビオトープづくりの活動支援 ＜担当部＞環境清掃部、都市基盤整備部	B
	③ ブルートライアングルプロジェクトとの連携 ＜担当部＞観光・国際都市部、都市基盤整備部、環境清掃部、教育総務部	B

重点プロジェクトE ごみを出さない生活への転換		評価
(1) 発生抑制、再使用の生活様式の促進	① 生ごみの減量やごみを出さない生活様式への転換 ＜担当部＞環境清掃部	B
	② 商店街やスーパーと連携したごみの発生抑制につながる生活様式の促進 ＜担当部＞環境清掃部	B

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成		評価
(1) 環境推進リーダーの育成・活動支援	① 環境推進リーダー育成・活動支援 ＜担当部＞環境清掃部	C
	② 職員研修の実施 ＜担当部＞総務部、環境清掃部	B
	③ 環境にかかわる表彰制度等の創設 ＜担当部＞環境清掃部、教育総務部	B
(2) 環境学習・環境教育の推進	① 環境学習の推進 ＜担当部＞環境清掃部、教育総務部	B
	② 環境保全意識の啓発 ＜担当部＞環境清掃部	B
	③ 自然観察会の実施 ＜担当部＞環境清掃部	B
	④ 自然体験学習の推進 ＜担当部＞教育総務部	B
	⑤ 学校教育における環境教育の推進 ＜担当部＞教育総務部	B
	⑥ 地域活動の担い手の育成 ＜担当部＞地域力推進部	B

(1) プロジェクトの概要

本プロジェクトは、事業活動に関連した環境配慮の普及啓発を行うことで、事業者の省エネ行動を促します。また、事業者間及び事業者と行政との連携を強化し、産業分野の新たな取組みの推進エンジンとなる体制を整備するものです。



環境経営勉強会
施設見学の様子

(2) プロジェクトの意義

本プロジェクトは、「ものづくり」という大田区独自の特性を活かした環境面の新たな試みであり、本計画を特徴づける大きな要素の一つになり得ます。

また、志を有した事業者が集まったモデル的な取組みを積極的に情報発信することで、区内事業者の「環境マインド」向上に波及効果を生むことが期待されます。

重点プロジェクトA 産業分野の取組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備

個別施策 (平成・令和/年度)	29	30	元	2	3	4～	担当
環境配慮行動の促進						→ 継続	環境清掃部 産業経済部
事業者・行政の連携強化						→ 継続	環境清掃部 産業経済部

(1)事業者・行政の連携強化	
① 環境配慮行動の促進	
(事業概要) セミナーやイベントの開催、ホームページなどによる情報発信、環境配慮製品の流通促進などの普及啓発活動により、家庭や事業所における省エネ行動を促進します。	<評価> B
<令和2年度の取組内容> 【事業者の省エネ行動の促進】 ○事業者における省エネ行動の促進を目的に、事業者等が開催する省エネ講習会に講師を派遣しました。 ・企業交流会「OKK-21」 11月11日(水) 参加者11人 【環境経営勉強会】 ○事業者の環境配慮経営を促進するため、環境経営勉強会をオンライン併用で開催しました。 ・環境経営勉強会 3月19日(金) 参加事業者5社	
<令和3年度の主な取組内容> ○事業者における省エネ行動の促進を目的に、事業者等が開催する省エネ講習会などに講師を派遣します。	
<担当部>環境清掃部、産業経済部	

重点プロジェクトA 産業分野の取組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備

(1)事業者・行政の連携強化	
②事業者・行政の連携強化	
(事業概要) 産業分野の取組みの推進エンジンとなる産官の連携体制を整備し、事業者と行政が一体となって取組みを進めます。	<評価> B
<令和2年度の取組内容> 【おおたクールアクション推進連絡会の設立】 ○「低炭素社会の実現」をめざし、新たにスタートした区民運動「おおたクールアクション」の賛同団体が運動の推進組織となる任意団体を設立しました。 ・任意団体名 おおたクールアクション推進連絡会 ・設立年月日 令和2年8月7日 ・賛同団体数 85団体(3月31日現在) 【おおたクールアクション推進連絡会の活動実績】 ○活動に必要な各種会議を開催しました。 ・設立準備会 1回 ・幹事会 2回	

・総会 1回

○賛同団体のレベルアップを目的に「おおたクールアクションのつどい」を開催しました。

・2月4日(木) 区役所本庁舎 第五・六委員会室

・参加者等 35団体 135人(うちオンライン視聴 100人)

・基調講演「SDGsで自分を変える未来が変わる」

博報堂 DY ホールディングス CSR 担当部長

神奈川県顧問 (SDGs 推進担当) 川廷 昌弘氏

○区民に向けた普及啓発活動を目的に区民運動「おおたクールアクション」のポスターを賛同団体の事業所や区施設に掲出しました。

<令和3年度の主な取組内容>

○区民運動「おおたクールアクション」への賛同団体の拡大を図ります。

○「おおたクールアクション推進連絡会」の活動が円滑に進むよう、団体運営及び各種事業の実施に必要な支援を行います。

<担当部>環境清掃部、産業経済部

(1) プロジェクトの概要

本プロジェクトは、都市計画道路や幹線道路の整備促進を行い、区内沿道の環境保全対策を図ります。

また、羽田空港の沖合展開後の増便などに伴う影響に対して、騒音・振動対策や大気環境保全対策に係る取組みを継続して展開します。

(2) プロジェクトの意義

空港周辺の自動車交通量の増加に対して、都市計画道路や幹線道路の整備促進のほか、公共交通の利用促進、沿道環境に関する調査測定など、快適で安全な暮らしの実現に向け、区として必要な対策を一体的に講じます。



第一京浜国道沿道の自動車
排出ガス及び騒音測定局

重点プロジェクトB 沿道環境の保全対策

個別施策 (平成・令和/年度)	29	30	元	2	3	4～	担当
自動車騒音・振動調査						→ 継続	環境清掃部
		毎年調査の実施					
大気汚染調査						→ 継続	環境清掃部
		毎年調査の実施					
都市計画道路の整備						→ 継続	都市基盤整備部 まちづくり推進部
		用地取得・整備・測量					

(1) 騒音・振動対策の推進

① 自動車騒音・振動調査

(事業概要)

自動車騒音・振動の実態把握とその対策のため、騒音・振動に関する調査を行い、関係機関へ対策を要望します。

<評価>

B

<令和2年度の取組内容>

○幹線道路面的評価監視に係る調査を10区間で実施しました。

定点(6幹線道路)として、第一京浜、第二京浜、産業道路、中原街道、環七通り、環八通り、準定点(4地点 原則、5年周期で地点を変更)として、池上通、環七通り、環八通り、多摩堤通りを行いました。

道路近傍騒音 10区間中、昼間は6区間、夜間は3区間で環境基準を達成しました。

面的評価による環境基準達成率 10区間全体で昼間 94.0%、夜間 84.5%、昼夜とも 83.8%

○要請限度調査を2路線で2地点ずつ実施しました。

要請限度調査では振動は全地点・全時間区分で達成しました。騒音は昼間4地点で達成、夜間4地点で達成しました。騒音の環境基準は昼間4地点で達成、夜間は1地点で達成しました。道路管理者に対して改善の要望を行いました。

<令和3年度の主な取組内容>

○幹線道路面的評価監視に係る調査(10区間、定点6+準定点4)を行います。

○要請限度調査を2路線2地点ずつ実施します。また、要請限度を超過している場合には道路管理者などへ要請や要望を行います。

<担当部>環境清掃部

重点プロジェクトB 沿道環境の保全対策

(2) 大気環境の保全対策の推進

① 大気汚染調査

(事業概要)

区内の大気汚染の状況を把握するため、住宅地などの一般環境、主要な道路沿道に測定局を設置し、常時測定を行います。光化学スモッグによる被害を防止するため、光化学オキシダント濃度が高くなった場合は光化学スモッグ注意報等を発令します。

<評価>

B

<p><令和2年度の取組内容></p> <p>【大気汚染常時監視測定結果】</p> <p>○環境基準が定められている大気汚染物質について、区内9か所で大気汚染状況を常時監視しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化硫黄 全測定局で環境基準を達成 ・二酸化窒素 全測定局で環境基準を達成 ・光化学オキシダント 全測定局で環境基準を非達成 光化学スモッグの学校情報の提供日数は1日、注意報発令日数は0日 ・浮遊粒子状物質 全測定局で環境基準を達成 	
<p><令和3年度の主な取組内容></p> <p>○環境基準が定められている大気汚染物質について、区内9か所で大気汚染状況の常時監視を継続します。</p>	
<p><担当部>環境清掃部</p>	

重点プロジェクトB 沿道環境の保全対策	
(2) 大気環境の保全対策の推進	
②都市計画道路の整備	
<p>(事業概要)</p> <p>交通渋滞による道路周辺環境への影響を軽減するため、区内都市計画道路の整備推進を図るとともに、国や東京都に働きかけます。</p>	<p><評価></p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>
<p><令和2年度の取組内容></p> <p>【都市計画道路の整備】</p> <p>○補助線街路第27号線（大森北付近）・38号線（羽田旭町付近）・43号線（仲池上付近）・44号線（上池台付近）、大田区画街路第1号線（北千束付近）・7号線（蒲田駅東口） [用地取得、設計、工事]</p> <p>上記を実施しました。</p>	
<p><令和3年度の主な取組内容></p> <p>【都市計画道路の整備】</p> <p>○補助線街路第27号線（大森北付近）・38号線（羽田旭町付近）・43号線（仲池上付近）・44号線（上池台付近）、大田区画街路第1号線（北千束付近）・7号線（蒲田駅東口） [用地取得、設計、工事]</p> <p>上記を実施します。</p>	
<p><担当部>都市基盤整備部、まちづくり推進部</p>	

(1) プロジェクトの概要

本プロジェクトは、住宅における太陽エネルギー利用の拡大促進を行うとともに、区有施設への再生可能エネルギー*設備やエネルギーの効率化・最適化設備の利用促進、大規模開発において再生可能エネルギー*等の導入促進を図るものです。



区立羽田中学校の体育館屋根に設置している太陽光発電システム
(50kW)

(2) プロジェクトの意義

再生可能エネルギー*等の導入拡大には、以下に挙げるような多くの意義があります。

- 低炭素*なエネルギーであり、電力使用に伴う二酸化炭素 (CO₂) 排出量をゼロにできる。
- 長期的には発電コストの低減が進み、経済的なメリットが期待できる。
- 導入設備が「見える」ことから、区民等や事業者に対する高い啓発効果が見込まれる。
- 関連装置の市場拡大が進み、区内工業を中心とした産業振興に繋がるものと期待される。
- 系統電力*のピークカット*に貢献できる (いわゆる節電効果)。
- 大規模停電等においても、再生可能エネルギー*による一定の熱・電力の供給が可能である。

重点プロジェクトC 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大

個別施策 (平成・令和/年度)	29	30	元	2	3	4～	担当
区有施設への再生可能エネルギー*設備等の導入、エネルギーの効率化・最適化設備の利用促進			導入			継続	企画経営部 都市基盤整備部 環境清掃部
住宅用太陽エネルギー利用機器等の設置拡大	設置拡大						環境清掃部
再生可能エネルギー等の普及促進				普及促進		継続	環境清掃部
大規模開発時における再生可能エネルギー*の導入促進			導入促進			継続	環境清掃部
次世代エネルギー*の普及促進			普及促進			継続	環境清掃部

(1) 区有施設への積極導入

① 区有施設への再生可能エネルギー設備等の導入、エネルギーの効率化・最適化設備の利用促進

(事業概要)

区有施設の建設等の際には、再生可能エネルギー*や高効率の設備の導入など環境配慮型の施設を検討します。

また、導入したシステムを活用し、平常時の電力ピークカット*等、エネルギーの効率的な活用を図り、温室効果ガスの削減を図ります。

<評価>

B

<令和2年度の実施内容>

- 大森第七中学校改築その他工事で太陽光発電設備 10 kW (屋上パネル) を設置しました。
- 大田区多摩川清掃事務所新築工事で太陽光発電設備 20 kW (屋上パネル) を設置しました。

【環境性の高い電力の導入】

- 電力の環境性向上を目的に再生可能エネルギー100%の電気を導入しました。
 - ・区役所本庁舎 10月から
 - ・蒲田清掃事務所(新庁舎) 7月から
- 児童・生徒の環境意識の向上と電力の環境性向上を目的に、23区の清掃工場の未利用熱を利用して発電した電力の導入を拡大しました。
 - ・全区立学校、大森清掃事務所、調布清掃事務所 10月から
- 全区立小学校の4～6年生にリーフレット「学校で使用する電力の環境性」を配付しました。

<令和3年度の実施内容>

- 大田区新蒲田一丁目複合施設新築工事で太陽光発電設備 20 kW (屋上パネル) を設置予定です。
- 【環境性の高い電力の調達】
- 区施設等への再生可能エネルギー100%電力などの環境性の高い電力の導入拡大の可能性を検討します。

<担当部>企画経営部、都市基盤整備部、環境清掃部

重点プロジェクトC 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大	
(2) 区民等・事業者の導入の支援	
① 再生可能エネルギー等の普及促進	
(事業概要) 区内における再生可能なエネルギー*等の普及促進に向けて検討を行います。	<評価> B
<令和2年度の実施内容> ○先駆的な取組を実施する他の自治体の事例について、調査しました。	
<令和3年度の主な取組内容> ○先駆的な取組を実施する他の自治体等の事例について、調査・研究します。	
<担当部>環境清掃部	

重点プロジェクトC 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大	
(2) 区民等・事業者の導入の支援	
② 大規模開発時における再生可能エネルギーの導入促進	
(事業概要) 「地域力を生かした大田区まちづくり条例」により大規模開発時の再生可能エネルギー*の導入を促進します。	<評価> B
<令和2年度の実施内容> ○「地域力を生かした大田区まちづくり条例」第63条の再生可能エネルギーの活用に基づき、再生可能エネルギー導入計画書の提出を受けました。 提出件数 103件 うち導入予定 太陽光発電システム 6件 (96.1kW)	
<令和3年度の主な取組内容> ○「地域力を生かした大田区まちづくり条例」第63条の再生可能エネルギーの活用に基づき、再生可能エネルギー*の導入を促すことにより、区民の安全で快適な住環境を確保し、活力のある調和のとれた都市づくりの実現をめざします。	
<担当部>環境清掃部	

重点プロジェクトC 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大	
(3)次世代エネルギーの普及促進	
①次世代エネルギーの普及促進	
(事業概要) 環境にやさしい次世代エネルギー*の普及促進のため、情報提供を図ります。	<評価> B
<令和2年度の取組内容> 【こども環境教室】 ○燃料電池車（公用車）と企業のCSRを活用し、「こども環境教室」を開催しました。 ・「燃料電池車の出前授業」 小学校4校、参加者381人 【区役所の取組みの見える化】 ○児童・生徒の環境意識の向上と電力の環境性向上を目的に、23区の清掃工場の未利用熱を利用して発電した電力の導入を全区立学校に拡大したことに伴い、全区立小学校の4～6年生にリーフレット「学校で使用する電力の環境性」を配付しました。 【「みんなで一緒に自然の電気」キャンペーンの周知】 ○区内の再生可能エネルギーの導入拡大を目的に、東京都などが実施する再生可能エネルギーのグループ購入事業を区報やホームページで周知しました。	
<令和3年度の主な取組内容> ○再生可能エネルギー導入拡大やエネルギーの効率的な利用に関する普及啓発に取り組みます。 ○新たなエネルギーとして期待される水素に関する情報提供を行います。	
<担当部>環境清掃部	

(1) プロジェクトの概要

本プロジェクトは、国や東京都との連携を取りながら、生物多様性*に配慮した緑地管理の試行のほか、区が管理する公園や施設等の一部を区民等が主体的に取り組むビオトープ*づくりに開放するなどの活動支援を行うものです。これらの取組みを通じて、区内におけるエコロジカルネットワーク*の形成を図り、生物が移動できる環境の確保を目指します。



森ヶ崎水再生センター屋上にて
コアジサシの親子（給餌中）

(2) プロジェクトの意義

都市の生活は、生物多様性*の恵沢を享受することで成り立っています。生活や都市づくりなどのあらゆる場面において自然との共生が欠かせません。都市内に残された水辺や緑を活かしたエコロジカルネットワーク*の形成を図ります。

重点プロジェクトD 生物多様性の保全・再生

個別施策 (平成・令和/年度)	29	30	元	2	3	4～	担当
生き物の生育・生息空間づくり			実施			継続	都市基盤整備部
区民等が行うビオトープ*づくりの活動支援			活動支援			継続	環境清掃部 都市基盤整備部
ブルートライアングルプロジェクトとの連携			連携			継続	観光・国際都市部 都市基盤整備部 環境清掃部 教育総務部

(1)エコロジカルネットワークの形成

① 生き物の生育・生息空間づくり

<p>(事業概要) 生き物が生育・生息できる空間を確保するため、10か所の緑の拠点、緑の環境軸及び水の環境軸の一部や区管理の公園において、必要に応じて国や東京都との連携を図りながら、生物多様性*に配慮した緑地管理を実施します。</p>	<p><評価> B</p>
<p><令和2年度の取組内容> ○大森ふるさとの浜辺公園では、生き物の生息に配慮してヨシ原の粗放管理を実施しました。 ○馬込自然林緑地においては、区内の貴重な自然林を後世に引き継ぎ、また、生き物の生息環境を残すため、現状の植栽環境を維持していくよう管理しました。</p>	
<p><令和3年度の主な取組内容> ○大森ふるさとの浜辺公園では、生き物の生息に配慮してヨシ原の粗放管理を継続して実施します。 ○馬込自然林緑地においては、区内の貴重な自然林を後世に引き継ぎ、また、生き物の生息環境を残すため、現状の植栽環境の維持管理を継続して実施します。</p>	
<p><担当部>都市基盤整備部</p>	

重点プロジェクトD 生物多様性の保全・再生

(1)エコロジカルネットワークの形成

② 区民等が行うビオトープづくりの活動支援

<p>(事業概要) 区が管理する公園や施設等の一部を開放するなどして、区民等や区民活動団体が主体的に取り組むビオトープ*づくりや生き物の保全活動を支援します。</p>	<p><評価> B</p>
<p><令和2年度の取組内容> ○「田園調布せせらぎ公園」で田んぼづくりをしている環境団体への支援、NPOとの連携による大森ふるさとの浜辺公園や大師橋干潟等での自然観察会、コアジサシの保護活動（森ヶ崎水再生センター屋上）を進めるNPOとの連携による観察会や支援、区民による水辺の楽校の活動への支援等を実施しました。</p>	
<p><令和3年度の主な取組内容> ○「田園調布せせらぎ公園」で田んぼづくりをしている環境団体への支援、NPOとの連携による平和の森公園や大師橋干潟等での自然観察会、コアジサシの保護活動（森ヶ崎水再生センター）を進めるNPOとの連携による観察会や支援、区民による水辺の楽校の活動への支援等を実施します。 ※令和3年度に実施を予定していた下記のイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点</p>	

から中止となりました。

5月15日（土） アオスジアゲハを探しに行こう！ 中止

7月31日（土）、8月7日（土） トワイライト探検隊 中止

9月5日（土） 「川と干潟のみち」干潟の生き物とふれあおう！ 中止

<担当部>環境清掃部

重点プロジェクトD 生物多様性の保全・再生

(1)エコロジカルネットワークの形成

③ ブルートライアングルプロジェクトとの連携

<p>(事業概要)</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアオスジアゲハをシンボルとした「おもてなしのまちづくり」として、バタフライガーデンやバタフライコーナーなどの環境整備や環境学習等の取組みを進めます。</p>	<p><評価></p> <p>B</p>
<p><令和2年度の取組内容></p> <p>【ブルートライアングルプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none">○バタフライコーナーの整備（平和島公園）を実施しました。○バタフライコーナー（東調布公園）に花苗を補植しました。○蒲田地区公園内花壇の花苗植栽を実施しました。○バタフライガーデン及びバタフライコーナーの適正な維持管理を行いました。○大森南圃場において、ブルートライアングル事業を視野に入れた整備計画を策定しました。○自然観察会等で「ブルートライアングルプロジェクト飼育体験マニュアル」を活用しました。○自然観察会「アオスジアゲハを探しに行こう！」（大森ふるさとの浜辺公園）を実施しました。 <p>9月27日（日） 参加者13人</p> <ul style="list-style-type: none">○「東京都オリンピック・パラリンピック教育重点校」、「令和3年度子どもの「生きる力」を育むプログラム～大田区における特色ある教育の推進～事業実施校」として、ブルートライアングルプロジェクトに学校を挙げて積極的に参画しています。子どもたちの活動でアオスジアゲハを羽化させて、飼育、放蝶する活動を通して、自然や生命を大切にする教育活動を推進しています。（大森第五小学校）	
<p><令和3年度の主な取組内容></p> <p>【ブルートライアングルプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none">○大森南圃場において、アオスジアゲハをはじめとした蝶の食草及び吸密植物を植栽します。○バタフライガーデン及びバタフライコーナーの適正な維持管理を実施します。○蒲田地区公園内花壇の花苗植栽を実施します。○「東京都オリンピック・パラリンピックアワード校」として、ブルートライアングルプロジェクトへ継続的、積極的に参画します。（大森第五小学校）	
<p><担当部>観光・国際都市部、都市基盤整備部、環境清掃部、教育総務部</p>	

(1) プロジェクトの概要

本プロジェクトは、家庭や事業所から排出されるごみの量そのものを減らす生活様式への転換を目指すものです。

ごみを出さない生活への転換に向けて、具体的には、生ごみの減量や無駄のない買い物の仕方など、発生抑制に関する普及啓発の強化や、子どもや地域を対象とした環境学習等の取組み拡大による区民意識の醸成を図ります。



スケルトン清掃車「ごみ ZERO」号を用いた小学生への環境学習の様子

(2) プロジェクトの意義

ごみの発生抑制は、区民等や事業者が行うことができる最も基本的な環境配慮行動の一つと言えます、このような区民一人ひとりの行動が循環型社会*の構築につながり、取組み全体を牽引する役割となります。

重点プロジェクトE ごみを出さない生活への転換

個別施策 (平成・令和/年度)	29	30	元	2	3	4～	担当
生ごみの減量やごみを出さない生活様式への転換						→ 継続	環境清掃部
商店街やスーパーと連携したごみの発生抑制につながる生活様式の促進						→ 継続	環境清掃部

(1)発生抑制、再使用の生活様式の促進

① 生ごみの減量やごみを出さない生活様式への転換

<p>(事業概要)</p> <p>循環型社会*の構築のため、3R* (リデュース・リユース・リサイクル) 推進、食品ロスを少なくするためのPRにより、さらに区民一人ひとりが生ごみの減量やごみを出さない生活様式への転換が図れるよう啓発を進めます。</p>	<p><評価></p> <p>B</p>
--	-----------------------------------

<令和2年度の実施内容>

- チラシ・ポスター等によるPRを実施しました。
 - ・清掃だよりの発行 年 10回
 - ・区施設掲示板啓発ポスターの掲出 年 16回
 - ・区報への掲載 年 14回
- 家庭に眠る未利用食品を区に持ち込んでいただき、これを区内の福祉団体等に寄付する「フードドライブ」を実施しました。
 - ・実施日：(第1回) 9月7日(月)～11日(金)、
(第2回) 1月18日(月)～22日(金)
- ※6月実施分は新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に中止
 - ・回収場所：池上・嶺町・羽田・矢口特別出張所、環境計画課
 - ・参加者数：計 341人
 - ・寄付内容：商品数計 3,496点、重量計 1,028.79kg
- 食品ロスについて「知り」「考える」きっかけを提供することを目的に、区内小・中学校の希望校を対象にした「食品ロス出前授業」を開始しました。
 - ・座学形式：4校(6回)
- 区内事業者から排出される食品ロスについて、食品を必要としている区内の福祉団体等とマッチングして有効活用を図る「地産地消型未利用食品マッチング」を実施しました。
 - ・実績：マッチング等7件
- 区内で食品ロス削減に取り組む飲食店や食品取扱事業者等を「大田区食べきり応援団」として登録し、その取組を区として支援、PRすることで、事業者及び消費者への食品ロス削減に対する意識啓発を図りました。
 - ・登録数：41事業者(3月31日時点)
- 「身近なことからはじめる食品ロス削減」をテーマにした区民向け講習会の実施に代え、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から食品ロス削減に係る動画を制作し、大田区公式Youtubeチャンネルにて公開しました。
 - ・動画「冷蔵庫整理と食品ロス削減」(公開開始日：令和2年9月29日、視聴回数514回(3月31日時点))

<p><令和3年度の主な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○チラシ・ポスター等によるPRを実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・清掃だよりの発行 ・区設掲示板啓発ポスターの掲出 ・区報への掲載 ○家庭に眠る未利用食品を区に持ち寄っていただき、これを福祉団体等に寄付する「フードドライブ」を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定：(第1回) 6月14日(月)～18日(金) (第2回) 9月27日(月)～10月1日(金) (第3回) 令和4年1月24日(月)～28日(金) ・回収場所：池上・嶺町・羽田・矢口特別出張所、環境計画課 ○食品ロスについて「知り」「考える」きっかけを提供することを目的に、区立小・中学校の希望校を対象にした「食品ロスに関する出前授業」を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・座学形式：6回程度 ○区内事業者から排出される食品ロスについて、区内福祉団体等にマッチングして有効活用する「地産地消型未利用食品マッチング」を実施します。 ○区内で食品ロス削減に取り組む飲食店や食品取扱事業者等を「大田区食べきり応援団」として登録し、その取組を区として支援、PRして、事業者及び消費者の食品ロス削減に係る機運醸成へとつなげます。 ○「身近なことからはじめる食品ロス削減」をテーマにした区民向け講習会の実施に代え、食品ロス削減に係るエコ自慢キャンペーンで区民から応募のあったレシピ等を活かした普及啓発を図ります。 	
<p><担当部>環境清掃部</p>	

<p>重点プロジェクトE ごみを出さない生活への転換</p>	
<p>(1)発生抑制、再使用の生活様式の促進</p>	
<p>② 商店街やスーパーと連携したごみの発生抑制につながる生活様式の促進</p>	
<p>(事業概要)</p> <p>使用済みのペットボトルは、集積所(行政回収)のほか、スーパーやコンビニ等の店頭(自主回収)にて回収の推進に努めています。</p> <p>また、3R*(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、ごみを出さない生活様式への転換を促すため、区民には、買い物には買い物袋を持参してもらいレジ袋や余分な包装を断るよう普及・啓発を図ります。</p>	<p><評価></p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>
<p><令和2年度取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「資源とごみの分け方・出し方」について転入者向け及び外国語版(英語・中国語・ハングル・タガログ語・ネパール語・ベトナム語版)を作成しました。また、冊子の発行の他、区ホームページ、区報に掲載し普及・啓発を図りました。 ○「大田区ごみ分別アプリ～資源とごみを分別～」の普及を促進しました。 ダウンロード数9,687件(平成29年度11月導入後、累計30,251件) 	
<p><令和3年度の主な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源とごみの分け方・出し方や冊子の発行の他、区ホームページ、区報に掲載し普及・啓発を図ります。 ○「大田区ごみ分別アプリ～資源とごみの分け方・出し方～」の普及を促進します。 	
<p><担当部>環境清掃部</p>	

(1) プロジェクトの概要

本プロジェクトは、本計画に基づき中長期的な環境保全の取組みを推進していく上で、その原動力となる人づくりを目的とするものであり、地域の環境教育における中心的な役割を担う環境推進リーダーを育成するほか、区民等や事業者に対して広く行う環境教育や環境情報の提供などの展開を図ります。

(2) プロジェクトの意義

環境推進リーダーとの連携のもとで、区民一人ひとりの環境マインドの充実・拡大を図り人材を育成することは、基本目標 F の推進のみでなく、本計画全体の推進に繋がります。

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

個別施策 (平成・令和/年度)	29	30	元	2	3	4～	担当
環境推進リーダー育成・活動支援	講座開催・修了者への活動支援					→	継続 環境清掃部
職員研修の実施	研修実施					→	継続 総務部 環境清掃部
環境にかかわる表彰制度等の創設	表彰実施					→	継続 環境清掃部 教育総務部
環境学習の推進	推進					→	継続 環境清掃部 教育総務部
環境保全意識の啓発	実施					→	継続 環境清掃部
自然観察会の実施	実施					→	継続 環境清掃部
自然体験学習の推進	推進					→	継続 教育総務部
学校教育における環境教育の推進	推進					→	継続 教育総務部
地域活動の担い手の育成	育成					→	継続 地域力推進部

(1) 環境推進リーダーの育成・活動支援

① 環境推進リーダーの育成・活動支援

<p>(事業概要)</p> <p>地域の環境教育を担い、より良い環境づくりに向け、地域のリーダーとしての活躍が期待される環境推進リーダーを育成するため、大学や区内の環境 NPO 等と連携した講座を開催します。</p> <p>また、講座修了者が主体的に実施する環境学習プログラムの企画・運営を支援します。</p>	<p><評価></p> <p>C</p>
<p><令和2年度の取組内容></p> <p>○地域の環境学習における中心的な役割を担うとともに環境保全における地域のリーダーとなる人材の育成を目的として、大田区環境マイスター養成講座を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p>	
<p><令和3年度の主な取組内容></p> <p>○大田区環境マイスター養成講座を休止し、次年度に向けて環境マインドを有する人材の育成方法を検討し、計画の見直しを図ります。</p>	
<p><担当部>環境清掃部</p>	

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

(1) 環境推進リーダーの育成・活動支援

② 職員研修の実施

<p>(事業概要)</p> <p>環境を題材とした職員研修を実施し、環境意識の向上に努めます。</p>	<p><評価></p> <p>B</p>
<p><令和2年度の取組内容></p> <p>○区の業務から排出される温室効果ガスの削減と職員の環境配慮意識向上をめざし、職員研修等を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコオフィス職員研修として、おたクールアクションのつどい基調講演「SDGs で自分を変える未来が変わる」のオンライン視聴に参加しました。(参加・視聴者 65 人)。 	

○採用2年目職員対象の協働体験研修で、現場体験先のひとつとして区内の環境NPO活動に参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より参加を中止しました。

<令和3年度の主な取組内容>

○大田区役所エコオフィス推進プランの取組強化及び環境配慮意識の向上を目的に、職員研修を実施します。

<担当部>総務部、環境清掃部

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

(1)環境推進リーダーの育成・活動支援

③ 環境にかかわる表彰制度等の創設

(事業概要)

区民、学校、団体、事業所等を対象とした環境にかかわる表彰やコンテスト等を創設し、インセンティブの向上に努めます。

<評価>

B

<令和2年度の取組内容>

【「地球にやさしいまちづくりポスター」の募集】

○区内の小・中学校の児童・生徒を対象に、「地球にやさしいまちづくりポスター」を募集し、入選作品を大田区ホームページ、環境啓発コーナー等で展示しました。

・応募校数 31校 応募数 323点 表彰数 30点

【エコレシピコンクール】

○隔年事業のため令和2年度は未実施

【環境フォトコンテスト(エコフェスタワンダーランド)】

○区内小・中学校や区内の活動団体から募集するコンテスト形式によらず、エコフェスタ協力団体等の紹介等を行う環境フォト展示の実施を想定していましたが、エコフェスタワンダーランドを新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止したことに伴い、実施を中止しました。

【廃棄物減量及び資源化推進優良事業者の表彰】

○区内の事業用大規模建築物における廃棄物の減量及び適正処理に、自主的かつ積極的に取り組み、顕著な成果を挙げていると認められる優良事業者を表彰しました。

・11月の廃棄物管理責任者講習会において、2件の優良な建築物所有者等を表彰しました。

<令和3年度の主な取組内容>

【「地球にやさしいまちづくりポスター」の募集】

○区内の小・中学校の児童・生徒を対象に、「地球にやさしいまちづくりポスター」を募集し、入選作品を大田区ホームページ、区施設等で展示します。

【エコレシピコンクール】

○地球温暖化防止、食品ロス削減などを目的とするエコレシピコンクールについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、代わって「はねびょん健康ポイント」連携事業として食品ロス削減に係るエコ自慢キャンペーンを実施します。

【環境フォトコンテスト(エコフェスタワンダーランド)】

○エコフェスタワンダーランドのオンラインでの実施にあわせ、エコフェスタ協力団体等の紹介等を行う環境フォト展示を実施します。

○事業用大規模建築物における廃棄物の減量及び適正処理に顕著な成果を挙げた優良事業者を表彰します。

<担当部>環境清掃部、教育総務部

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

(2)環境学習・環境教育の推進

① 環境学習の推進

(事業概要) 幼児から大人までの幅広い世代を対象にして、地球温暖化対策*、自然や緑の分野をはじめ、保育園でのごみ減量の学習など循環型社会*等について、環境学習を企業のCSR*なども活用して進めます。	<評価> B
--	----------------------

<令和2年度 of 取組内容>

<低炭素*社会の構築>

【子ども環境教室】

○燃料電池車（公用車）と企業のCSRを活用し、「こども環境教室」を開催しました。

- ・「燃料電池車の出前授業」 小学校4校、参加者381人

○小中学生と高校生を対象に、区内企業と連携した施設見学会を開催しました。

- ・「JALリモート工場見学とそらエコ教室」3月13日(土) 参加者692人

【自治会町会と連携した普及活動】

○家庭における省エネ行動の促進を目的に、自治会町会等が開催する省エネ講習会に講師を派遣しました。

- ・地域力推進雪谷地区委員会 12月17日(木) 参加者60人

【エコレシピコンクール】

隔年事業のため令和2年度は未実施

【地球温暖化対策地域協議会と区の連携による普及啓発活動】

○家庭における省エネ行動の促進を目的に、エコレシピコンクール最優秀作品を活用するエコライフ講習会「環境にやさしいお料理教室」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

- ・夏休みバス見学会
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

<循環型社会の構築>

○将来を担う区内の小・中学生を対象に食品ロスについて「知る・考える」きっかけとなるよう出前授業を実施しました。

- ・座学形式 4校(6回)

○小学生・保育園・児童館を対象とした環境学習の実施 年2回

○自治会・町会等を対象とした出前講座の実施 年0回
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座を中止しました。

<自然共生社会の構築>

○区民協働調査として「大田区の身近な生物・植物調査」を行い、その結果として区内環境団体と協働でパンフレットを作成し、各施設への配布や区ホームページに掲載し周知しました。

<令和3年度の主な取組内容>

<低炭素*社会の構築>

【子ども環境教室】

○次代を担う子どもたちの環境学習を充実するため、企業のCSR活動などを活用しながら「こども環境教室」を開催します。

○児童・生徒を対象に、区内企業と連携した施設見学会を開催します。

【自治会町会と連携した普及活動】

○家庭における省エネ行動の促進を目的に、自治会町会等が主催する省エネ講習会などに講師を

派遣します。

【エコレシピコンクール】

○地球温暖化防止、食品ロス削減などを目的とするエコレシピコンクールについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、代わって「はねびょん健康ポイント」連携事業として食品ロス削減に係るエコ自慢キャンペーンを実施します。

【地球温暖化対策地域協議会と区の連携による普及啓発活動】

○家庭における省エネ行動の促進を目的に、エコレシピコンクール最優秀作品を活用したエコライフ講習会「環境にやさしいお料理教室」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、食品ロス削減に係るエコ自慢キャンペーンで区民から応募のあったレシピ等を活かした普及啓発を図ります。

○第1・2回エコレシピコンクールの最優秀レシピ等をまとめたエコレシピカードを作成、活用して普及啓発を図ります。

<循環型社会の構築>

○食品ロスについて「知り」「考える」きっかけを提供することを目的に、区立小・中学校の希望校を対象にした「食品ロスに関する出前授業」を実施します。

・座学形式6回程度

○ごみ減量・リサイクルについて啓発するために、小学生を対象とした環境学習を継続して取り組むと共に、保育園・児童館の低年齢児童を対象とした環境学習にも取り組みます。

○自治会・町会等を対象とした出前講座を実施します。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の対応状況をみながら実施についての判断をしていきます。

<自然共生社会の構築>

○「大田区の身近な生物・植物」についての区民協働調査を実施します。

<担当部>環境清掃部、教育総務部

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

(2)環境学習・環境教育の推進

② 環境保全意識の啓発

(事業概要)

幼児から大人までの幅広い世代を対象にして、地球温暖化対策*、自然や緑の分野をはじめ、循環型社会*等について、パネル展示やイベント開催等を通じて、環境保全意識の啓発を行います。

<評価>

B

<令和2年度の取組内容>

【環境月間パネル展】

○区の環境の現状や環境施策を広く区民に周知するための環境月間にあわせて開催するパネル展については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しましたが、ホームページを活用し、環境月間をテーマとした区の事業紹介を通じて普及啓発を図りました。

【エコフェスタワンダーランド】

○子どもを主に、広く区民の環境意識の高揚を図ることを目的として、「地域から考える地球の未来」をテーマに、区民・事業者・区が協働して開催するエコフェスタワンダーランドについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

これに代わり、コロナ禍でも自宅で環境学習できるツールの一つとして、環境啓発動画「アニメで解説！5分で分かる環境問題～みんなで守ろう地球の未来～」を大田区公式YouTubeチャンネルで公開しました。

・公開開始日：3月10日、視聴回数763回（3月31日時点）

・JAL リモート工場見学とそらエコ教室

令和3年3月13日(土) オンライン開催

講師 日本航空(株)副操縦士 渡邊 翔太郎 氏 同時視聴者数692人

<低炭素社会の構築>

【大田区地球温暖化防止アンバサダー】

○地球温暖化防止の機運醸成と区民運動「おおたクールアクション」の推進を目的に区出身の気象予報士である依田司氏を大田区地球温暖化防止アンバサダーに任命しました。

・任命期間 令和2年6月1日～令和4年5月31日(2年間)

【地球温暖化防止講演会】

○地球温暖化防止の機運醸成と取組を推進するため地球温暖化防止講演会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

【啓発用リーフレット等の作成・配付】ハンドブッグの作成】

○「はねびよんの省エネハンドブッグ」を区施設やおおたクールアクションの賛同団体の店舗等で配布しました。

○大田区地球温暖化防止アンバサダーの依田司氏が出演する区民運動「おおたクールアクション」のPR動画と実践ハンドブッグを作成しました。

・PR動画「5分でわかる!区民運動『おおたクールアクション』」

・リーフレット「おおたクールアクション実践ハンドブッグ」

○子どもたちの環境意識の向上を目的に「はねびよんの地球にやさしい行動シール」を全区立小学校5年生に配付しました。

【ホームページやSNSを活用した普及啓発事業】

○コロナ禍の「新しい生活様式」に適応した普及啓発事業として、ホームページやSNSを活用した普及啓発に取り組みました。

○「依田さんからのクールアクション」として、省エネなどの環境にやさしい具体的な実践行動を9月から月1回、区公式ツイッターとホームページに掲載しました。

○健康づくり課が所管する「健康アプリ」のタイムライン機能を活用し、自らの環境にやさしい取組を紹介する「わたしのエコ自慢キャンペーン」を実施しました。

・第1回(10月1日～11月30日) 「わたしのエコバッグ自慢」 投稿数33件

・第2回(2月1日～3月31日) 「わたしのあったか自慢」 投稿数18件

【おおた打ち水大会】

○ヒートアイランド対策及び地球温暖化対策の推進を目的とする、大蒲田祭（蒲田東口商店街）における「おおた打ち水大会」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

【打ち水支援事業】

○打ち水の普及促進を目的に行う打ち水用具の給付については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

【イベントへの出展】

○区民の環境意識向上を目的として行う、区主催イベントにおける環境に関する普及啓発活動の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

<自然共生社会の構築>

【多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～】

○多摩川河川敷を歩きながらごみを拾い、自然環境活動の大切さを考えることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

【緑のカーテン講習会】

○省エネルギー効果のある「緑のカーテン」を広く区民に周知し、楽しみながら継続的に取り組める地球温暖化対策として、栽培方法などを習得する講習会を開催しています。令和2年度は、

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

4月18日（土） 大田文化の森 中止

4月24日（金） 消費者生活センター 中止

【緑化普及講座】

○ハーブや野菜などの身近なみどりをテーマに、幅広く区民の方にみどりに親しんでいただき、緑のまちづくりを進めていくために開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

6月14日（日） 消費者生活センター 中止

10月10日（土） 池上会館 中止

【緑の講演会】

○みどりの効用と、草木の育成・栽培方法等について学ぶ機会を区民に提供しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

6月10日（水） 区民ホールアブリコ 中止

共催：大田区、大田区緑化推進協議会

【第11回おおた住まいづくりフェア内事業】

○18色の緑づくり、生垣造成助成等のパネル展示、助成制度のパンフレット配布による紹介や、気軽にできる園芸体験コーナー等により環境にかかわる啓発等を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

【コアジサシ保護活動】

○絶滅の恐れのある渡り鳥「コアジサシ」の保護活動を進めるNPOと連携して、森ヶ崎水再生センターの屋上にある営巣地の整備や観察会、活動を報告する講演会を実施しました。

・コアジサシ観察会 6月13日（土）、6月21日（日）中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。）

・コアジサシ講演会 12月12日（土） 区民ホールアブリコ 参加者64人

・コアジサシ営巣地整備 3月27日（土） 参加者43名、3月28日（日） 参加者37人

<循環型社会の構築>

【OTAふれあいフェスタ】

○ごみ減量・循環型社会への理解・協力を求めるため、OTAふれあいフェスタにおいて「清掃・リサイクルコーナー」を設置予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

・ごみ・3Rのゲーム

・スケルトン清掃車へのごみ積み込み体験

・清掃事業紹介パネルの展示

・地球にやさしいまちづくりポスターの展示

<令和3年度の主な取組内容>

【環境月間パネル展】

○区の環境の現状や環境施策を広く区民に周知するため、環境月間にあわせてパネル展示や区ホームページでの情報発信を行います。

【エコフェスタワンダーランド】

○子供を主に、広く区民の環境意識の高揚を図ること目的として、「地域から考える地球の未来」をテーマとし、区民・事業者・区が協働するエコフェスタワンダーランドを開催します。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の区立小学校を会場とする方式によらず、当事業に係る特設Webサイトを制作してオンラインによる実施方式とします。

<低炭素*社会の構築>

【区民運動「おおたクールアクション」】

○一人ひとりが地球温暖化を「自分ごと」と捉え、解決のための行動「省エネ・3R・グリーン購入」を実践する区民運動「おおたクールアクション」を推進し、区民の低炭素ライフスタイルへの転換を促進します。

○区のホームページやSNSなどを活用した情報発信を充実するとともに、区民運動の賛同団体及び「おおたクールアクション推進連絡会」と連携して、低炭素ライフスタイルに関する情報を発信します。

【大田区地球温暖化防止アンバサダー】

○大田区地球温暖化防止アンバサダーである区出身の気象予報士、依田司氏にご協力いただき、地球温暖化の現状や影響に関する情報発信します。また、「おおたクールアクション」の応援団としてご活躍いただきます。

【おおた打ち水大会】

○ヒートアイランド対策及び地球温暖化対策の推進を目的とする「おおた打ち水大会」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に大蒲田祭（蒲田東口商店街）の延期に伴い、実施を中止します。

【打ち水支援事業】

○打ち水の普及促進を目的に行う打ち水用具の給付を行います。

【イベントへの出展】

○区民等の省エネ型行動様式への転換を促進するため、区主催イベント等に出展してパネル展示等の普及啓発を行います。

<自然共生社会の構築>

【多摩川河川敷清掃活動～グリーンアクションたまがわ～】

○多摩川河川敷を歩きながらごみを拾い、自然環境活動の大切さを考えることを目的に開催しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により、中止が決定しています。

【緑のカーテン講習会】

○省エネルギー効果のある「緑のカーテン」を広く区民に周知し、楽しみながら継続的に取り組める地球温暖化対策として、栽培方法などを習得する講習会を開催します。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

4月17日（土） 大田文化の森 中止

4月22日（木） 消費者生活センター 中止

【緑化普及講座】

○暮らしに活用できるガーデニングを通じてみどりに親しみを持ち、地域の緑化を推進していくことを目的とし、身近なみどりをテーマにした緑化普及講座を開催します。

【緑の講演会】

○みどりの効用と、草木の育成・栽培方法等について学ぶ機会を区民に提供します。

共催：大田区、大田区緑化推進協議会

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

6月22日（火） 区民ホールアプリコ 中止

【第12回おおた住まいづくりフェア内事業】

○18色の緑づくり、おおたの名木選等のパネル展示、助成制度のパンフレット配布による紹介を行います。気軽にできる園芸体験コーナー等、環境にかかわる啓発等を行います。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

【コアジサシ保護活動】

○絶滅のおそれのある渡り鳥「コアジサシ」の保護活動を進めるNPOと連携して、森ヶ崎水再生センターの屋上にある営巣地の整備や観察会、活動を報告する講演会を実施します。

<循環型社会*の構築>

○ごみ減量・循環型社会への理解・協力を求めるため、OTAふれあいフェスタにおいて「清掃・リサイクルコーナー」を設置します。

<担当部>環境清掃部

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

(2)環境学習・環境教育の推進

③ 自然観察会の実施

(事業概要) NPO との連携も含め、区内の自然環境の理解・保護のための自然観察会を実施します。	<評価> B
---	----------------------

<令和2年度の取組内容>

- 「コアジサシ観察会」昭和島にある森ヶ崎水再生センター屋上で、絶滅のおそれのある渡り鳥「コアジサシ」の子育てを観察します。
 6月13日(土)、6月21日(日) 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
- 「トワイライト探検隊」夜の本門寺公園でセミの羽化やコウモリを観察します。
 8月1日(土)、8月8日(土) 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
- 「アオスジアゲハを探しにいこう！」田園調布せせらぎ公園内の自然とふれあいながら、チョウ(アオスジアゲハ)やサナギ、卵を探してその生態を学びました。
 9月27日(日) 参加者13人
- 「池のみち 洗足池 冬のバードウォッチング」で洗足池に暮らす野鳥の観察をします。
 1月17日(日) 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

<令和3年度の主な取組内容>

- コアジサシ保護活動
 絶滅のおそれのある渡り鳥「コアジサシ」の保護活動を進める NPO と連携して、森ヶ崎水再生センターの屋上にある営巣地の整備や観察会、活動を報告する講演会を実施します。
- アオスジアゲハを探しに行こう！
 大森ふるさとの浜辺公園内の自然とふれあいながら、チョウ(アオスジアゲハ)やサナギ、卵を探してその生態を学びます。
- トワイライト探検隊
 夜の本門寺公園でセミの羽化やコウモリを観察します。
- 「川と干潟のみち」干潟の生き物とふれあおう！
 大師橋干潟で干潟に暮らす生物を観察します。
- 「雑木林のみち」秋の森で自然と遊ぼう！
 田園調布せせらぎ公園や多摩川台公園を散策し、自然の中で楽しく遊びます。
- 「池のみち」洗足池 冬のバードウォッチング
 冬の洗足池に集まる野鳥の観察をします。

※令和3年度に実施を予定していた下記のイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

- 5月15日(土) アオスジアゲハを探しに行こう！ 中止
- 7月31日(土)、8月7日(土) トワイライト探検隊 中止
- 9月5日(土) 「川と干潟のみち」干潟の生き物とふれあおう！ 中止

<担当部>環境清掃部

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成	
(2)環境学習・環境教育の推進	
④ 自然体験学習の推進	
(事業概要) 伊豆高原(小5)、とうぶ(小6)、野辺山(中1)の移動教室での活動事例をまとめた「自然体験プログラム」を基に、学習ガイドを作成し、自然体験活動の一層の充実を図ります。	<評価> B
<令和2年度の取組内容> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、移動教室は中止となりました。小学校、中学校の移動教室に関連する取組としては、学習ガイドの配布を行いました。	
<令和3年度の主な取組内容> ○新型コロナウイルス感染症への対応のため、5年生の移動教室を中止し、6年生が伊豆高原ととうぶへ1泊2日の移動教室を行う予定です。学習ガイドを活用し、自然体験活動の充実を図ります。中学1年生は、菅平、車山、野辺山に分かれて1泊2日の移動教室を行う予定です。	
<担当部>教育総務部	

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成	
(2)環境学習・環境教育の推進	
⑤ 学校教育における環境教育の推進	
(事業概要) 各学校の実態等に応じて環境保全への取組を進めます。また、各教科等の指導において環境教育を進めます。	<評価> B
<令和2年度の取組内容> ○東京都教育委員会が作成した環境教育掲示用教材、解説書、ワークシートを活用し、各学校の実態に応じた取組を実施しました。 ○社会科・理科の指導において地球温暖化についての学習を継続的に行い、児童・生徒が二酸化炭素(CO2)の排出量削減に向けて取り組む態度を育成しました。 ※各教科等の指導における取組例 ・「ごみ・資源」、「自然・生命」、「エネルギー・地球温暖化」等に関する内容について、各教科等において環境教育を実施しました。 ※学校での主な取組 【赤松小】 モルモットの飼育 【大森第五小】 ブルートライアングルプロジェクト 【大森第六中】 洗足池水質浄化、ホテル復活プロジェクト、大岡山駅前花壇整備活動、農援隊による活動等幅広い環境教育をESD教育の視点で展開 【馬込東中】 アルミ缶回収運動(リヤカーで町内巡り、アルミ缶つぶし)	
<令和3年度の主な取組内容> ○引き続き、東京都教育委員会が作成した環境教育掲示用教材、解説書、ワークシートを活用し、各学校の実態に応じた取組を実施します。 ○社会科・理科の指導において地球温暖化についての学習を継続的に行い、児童・生徒が二酸化炭素(CO2)の排出量削減に向けて取り組む態度を育成します。	
<担当部>教育総務部	

重点プロジェクトF 環境マインドを持つ人材の育成

(2)環境学習・環境教育の推進

⑥ 地域活動の担い手の育成

<p>(事業概要) おおた地域力発見倶楽部の発行や NPO・区民活動フォーラムの開催を通じて、地域活動等の紹介を行い、区民へ活動に向けた意識啓発を行います。</p>	<p>＜評価＞ B</p>
---	-------------------------------

＜令和2年度の取組内容＞

【生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」】

- 区民が様々な活動に参加するきっかけづくりの一環として、区内で行われる講座・イベント情報を掲載したタブロイド版を令和元年度から発行し、広く区民へ情報提供を行いました。年2回（7月、1月、各12万部）発行し、新聞折込みで区内施設に配布しました。
- 令和元年8月から「おおた地域力発見ガイド+生涯学習ガイド「わくわく」を、「生涯学習情報ガイド「WaKuWaKuおおた」へ名称変更しました。区主催のイベントを中心に冊子にまとめ、広報を行いました（年3回（5、10、1月）発行、各約1,000部、配布方法 区内施設ほか
- 地域環境への理解を深めるための事業（大田区の自然観察会、コアジサシ営巣地整備）を掲載しました。

【NPO・区民活動フォーラム】

- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度の実施は中止しました。

＜令和3年度の主な取組内容＞

【生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」】

- 区民が様々な活動に参加するきっかけづくりの一環として、区内で行われる講座・イベント情報を掲載したタブロイド版を年2回（7月、1月、各12万部）発行し、区内施設等に配布します。
- 令和元年8月から「おおた地域力発見ガイド+生涯学習ガイド「わくわく」を、「生涯学習情報ガイド「WaKuWaKuおおた」へ名称変更しました。区主催のイベントを中心に冊子にまとめ、広報を行います（年3回（5、10、1月）発行、各約1,000部、配布方法 区内施設ほか
- 地域環境への理解を深めるための事業を掲載します。

【NPO・区民活動フォーラム】

- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和3年度の実施は中止します。

＜担当部＞地域力推進部